

ひろしま映像ショーケース2018

2018年3月10日(土) 13:00～ 自主制作グループ作品

※各団体の上映開始時刻は前後する場合があります。

13:00～

市民活動で映画製作をする会

市民活動を基本とし映画製作活動内容に生涯学習としての側面を重点に置き、撮影を行っている。本作品については、大崎下島御手洗 竹原市において撮影を行った。

恋は紅(べに)なり

監督／はまの省蔵 2017年 51分

広島から父の赴任にて姉妹が大崎下島の御手洗にやってくる。やがて平穏な日々の姉妹に訪れたのは妹の不治の病。ある日、タンスより手紙の束を見つける姉。その中に書かれた青年からの愛の文。嫁にも行かず家事と妹の看病をしていた姉は、妹に対する青年の片思いに嫉妬を感じる。だが、妹のことを不憫に思い、突然途切れた手紙の続きを姉が妹宛てに書くのだった。しかし、青年による手紙の束は病床についた妹の自作自演であった…。愛と嫉妬をめぐる姉妹と家族愛の物語



14:00～

オルタナクション

映像制作からイベントでの殺陣、アクロバットとジャンルを超えたアクションチーム。

阿鵝羅～AGARA

監督／キノシタケイタ 2014年 16分

幕末の西国街道。女盗賊のナギは、反幕府勢力の隠し財産が記された密書を盗み出すが、宿場を仕切る白戸郡司に密書を奪われてしまう。そこに現れる一人の忍。阿鵝羅と名乗るこの男は、自らの里を滅ぼした犯人に復讐すべく旅を続けていた。三者三様の思惑が絡み合い、高野の宿は激しい戦場と化す。

URGE TO KILL

監督／キノシタケイタ 2015年 15分

複数の人格を持ち、その姿も様々に変えるという伝説の殺し屋“顔の無い男”。彼の標的にされた組織は、彼の一人娘を人質に取り、顔の無い男を捕まえる。だが、彼の人格が一人ずつ解放され始め、壮絶な闘いへ突入する。



14:40～

Quest Movie Factory (QMF)

ライブスクウェア[クエスト]にて1981年頃より演劇グループ十八米四十糎主催みつふじひろあきを中心に広島市内にて自主映画の上映と制作活動を開始。立ち上げ時のメンバーには現在映画監督の諏訪敦彦も在籍。初期には山本政志監督『聖テロリズム』や石井聡互監督『高校大パニック』長崎俊一監督『闇打つ心臓』などを上映。また広島では1984年に初めての自主映画祭「八宝祭」を開催。ほしのあきら氏をゲストに迎え、全応募作品を上映し観客による投票審査スタイルでの映画祭を試みる。

雲の通ひ路

監督／吉松幸四郎 2016年 76分

音戸の瀬戸。広島県呉市の南岸に二つの赤い橋と二隻の渡船で結ばれた静かな島がある。幼い頃、父が失踪して母とふたり暮らしだった麻衣子は広島で就職してひとり暮らしをしていた。しかしある事情で実家へ帰省する。久しぶりの母とのぎこちない会話。そんな母の元に父の女だった女性から父の腕時計が返却されていたことを知る麻衣子。しかし麻衣子にもある秘密が…。家族の時間が置き去りにされた一軒家でゆるやかな回想とともに、よどんでいた時が、少しずつゆっくりと動き始める。



16:00～

イチエンポツポフィルム (IPF)

1986年に結成し、今年32周年を迎えた映画制作団体。通称IPF。ジャンルもファンタジー・アート・ラブコメと幅広く、近年は“広島発ヒロインアクションムービー”と称する娯楽アクション映画を制作・公開している。現在総作品数42本。

ビターズエンドpart1

監督／鍋木悟道(山口望) 2016年 38分

フリーターをしながら音楽活動続ける三山早紀(さき)のそれなりに穏やかな日々。たった一つの憂いを除いては。道ならぬ恋に悩む彼女が見る夢と現(うつ)の物語。



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>